

地域おこし協力隊

支所・行政サービスセンター拠点化推進

《畑野行政サービスセンター》活動内容

畑野地区 現状と課題

畑野は、佐渡島の国中平野から小佐渡山地を経て日本海に接する海岸に面した地区で、さまざまな自然に恵まれ、暮らしやすい気候である。

少子高齢化・人口減少の時代を迎えており、特に佐渡市は若年層の島外流出が顕著であるため、人口維持は困難な状況である。畑野地区においても、人口減少に伴い、経済の縮小、農地の荒廃、空き家の増加、生活環境の悪化等の問題が発生している。また、祭り・伝統芸能の継承や集落運営が困難な状況となっている。

地域の将来像

地域住民が、自分たちの未来、子どもの代まで安全安心安定して暮らせる“住みよいまちづくり”を目指す。

協力隊に求める活動内容

市職員及び地域相談員と連携し、地域の情報収集や意見交換を行って、課題を把握した上で、諸問題の改善に努めてもらいたい。

地域づくりの方向性を

1. 次世代リーダーの育成
2. 地域コミュニティの充実
3. 地域の経済を高める

と定め、以下の取組を目指します。

- ・活用可能なコンテンツの発掘、活用
- ・紅葉山公園エリアの活用と誘客促進
- ・次世代リーダーの人材育成
- ・地域防災計画作成支援

主な年間活動計画

1年目	<ul style="list-style-type: none">・地域の現状把握・市職員及び地域相談員と連携しながら、地域や高齢者の集まりに出向き、要望や意見の聴き取り・地域の課題等を集約・市職員及び地域相談員と連携しながら、活動内容に掲げた各取組の実践（サポート活動）
-----	--

2年目	<ul style="list-style-type: none"> ・市職員及び地域相談員と連携しながら、地域に出向き、要望や意見の聴き取り ・市職員及び地域相談員と連携しながら、活動内容に掲げた各取組の実践（サポート活動）
3年目	<ul style="list-style-type: none"> ・市職員及び地域相談員と連携しながら、地域に出向き、要望や意見の聴き取り ・市職員及び地域相談員と連携しながら、活動内容に掲げた各取組の実践（サポート活動） ・地域おこし協力隊が退任した後も維持できるような体制づくり ・隊員自身の定住に向けた取り組み

地域の連携体制

- ・佐渡市役所畑野行政サービスセンターを拠点として業務を行う。（事務席を用意）
- ・活動内容は、市職員・地域相談員及び地域の代表者と協議して進める。
- ・住居は、近隣の空き家等を紹介し、隊員自身が選定する。ただし、市の負担額（27,000円）を超えた場合は、自己負担となる。
- ・報酬及び福利厚生等は、佐渡市「地域おこし協力隊」募集要項【会計年度任用職員】の該当欄を参照

退任後の展望

退任後、継続して佐渡市内居住する場合は、行政（新潟県・佐渡市）の各種支援事業（企業・就職・住居・子育て等）を紹介

その他（生活環境など）

- ・業務担当 佐渡市畑野行政サービスセンター地域支援係（佐渡市畑野甲533番地）
- ・畑野行政サービスセンター周辺の生活環境（畑野行政サービスセンターからの所要時間）
 - ①ガソリンスタンド 車で2分
 - ②商店街 畑野行政サービスセンター周辺
 - ③大型ドラッグストア 車で10分
 - ④コンビニエンスストア 車で5分
 - ⑤郵便局 車で1分
 - ⑥JA 車で1分
 - ⑦警察署 佐渡警察署／車で10分
 - ⑧病院等 大崎医院／車で2分
佐渡総合病院／車で10分
 - ⑨保育園 畑野保育園／徒歩1分
 - ⑩小学校 畑野小学校／徒歩2分
 - ⑪中学校 畑野中学校／徒歩3分

畑野行政サービスセンターおよび周辺の参考写真



畑野行政サービスセンター



イベント支援（紅葉山まつり）



イベント支援（安寿天神まつり）



活動支援（安全安心まちづくり協会畑野支会・
地域防災計画作成支援）



松ヶ崎ヒストリーパーク



ボランティア活動（道路除草作業）